

# 大分市府内五番街商店街

(大分市府内五番街商店街振興組合)

大分県大分市

インバウンド

地域協働

新陳代謝

生産性向上

ポイント

30代・40代の若手役員が学生と連携した取組で商店街に新たな魅力を創出。商店街活動の担い手が増え、意見交換も活発に！

## 基本データ

所在地	大分県大分市府内町
人口	約48万人(大分市)
電話/FAX	097-534-2483 / 097-534-2437
URL	http://www.funai5.com/
会員数	79名
店舗数	113店舗(小売業32店、飲食業39店、サービス業23店、金融業1店、不動産業8店、医療サービス業1店、その他9店)
商店街の類型	エリア価値向上型
主な客層	サラリーマン、主婦/30歳代、60歳代

## 商店街概要

大分市の中心市街地に立地する商店街。明治から大正期に若宮八幡社跡地に市場が形成され、昭和25年に前身の「若松通り振興会」が発足。昭和37年の県庁舎の近接地移転に伴い発展してきた。昭和40年には「若松通り商店街振興組合」に組織変更。翌年、両側半蓋アーケードがオープンし、映画館などが数多く建ち並び、若者たちで連日賑わった。平成6年にリニューアルし、アーケードを撤去。路面は石畳となり、名称も、大分駅の南側から数えて5番目の通りであることから、ニューヨークの5番街のような洗練された商業文化の発信地をイメージしてもらいたいという願いと町名の府内を取って、府内五番街と名付けられた。

## 取組の背景

### どうすれば駅周辺部の歩行者を取り込めるか

県立美術館 OPAM の開館や JR 大分駅の複合商業施設の開業、東九州自動車道の開通等の効果により、駅周辺部の歩行者通行量は増加傾向にあった。大分市府内五番街商店街以外の市の中心部の商店街では、大型商業施設等と連携した集客の取組が行われていたが、府内五番街商店街は、大分駅から徒歩5分の距離にあるものの、大分市中心部の商店街の中では一番駅から遠く、集客力のある施設もなかった。定期的に行われてきたイベントがマンネリ化し、来客数は年々減少。周辺に大分駅からアーケードでつながる商店街もある中、府内五番街商店街の個性をどう打ち出すか、どのような客層をターゲットに集客し、各店の売上増加に結びつけるかが課題となっていた。

## 取組の内容

### 役員に就任した若手が新規事業に着手

商店街では、定型的な商店街運営から脱却しようと、平成26年の役員改選を機に30代及び40代の若手を理事長・副理事長を選任した。これまでのイベント等の事業を見直し、若手ならではの新たな発想により、高校生や専門学校などの若い人材を活用した新規事業に着手した。

新規事業のひとつとして、若者が集う商店街を目

指し、地元の県立大分商業高校の生徒に商店街の事業提案・企画に携わってもらうことを決定。定期的にミーティングを開催し、商店街のにぎわいを創出するためにはどうすべきかを一緒に考え、生徒提案の新たなイベントを開催したり、生徒が商店街の既存のイベント等の手伝いをするなど、地元の高校生と連携した。こうした取組がテレビ等のメディアで大きく取り上げられ、商店街への注目度を向上させた。また、同高校の部活動として商業調査部が「府内五番街アピるんジャー」というツイッターのアカウントを作成し、イベントや個店の情報をこまめに発信している。



毎年恒例のジャズフェス



毎年恒例のクリスマスジャズチャリティーイベント



毎年恒例のハロウィンイベント

平成29年10月28日に開催したハロウィンイ

イベントでは、同高校商業調査部の販売コーナーにおいて、高校生が開発した「大商饅頭」「大商ラーメン」「大商カレー」というオリジナルメニューを販売。多数の若者、父兄等の来街につながり、商店街が若者の活気にあふれた。



地元高校生とイベントコラボ

そのほか、大分県立芸術文化短期大学が商店街で開催するエコフェスタでは、商店街の石畳路上においてワークショップやステージイベントを開催しており、夕方からはキャンドルナイト、世界一小さな花火大会等を行っている。府内町にある専門学校の田北学院とも共同で、石畳にレッドカーペットを敷きファッションショーを開催するなど、芸術的なイベントにより洗練された商店街のイメージづくりも進めている。



毎年恒例の大分県立芸術文化短期大学の学生によるキャンドルナイト



毎年恒例の田北学院と共同開催するファッションショー

## 取組の成果

### 学生と連携した取組で顧客層も拡大

高校生や短大生と連携したイベントによる集客力と、メディア露出による商店街の宣伝効果は大きく、特に学生との共同イベントでは学生の友人や家族、

学校の先生など新たな顧客の獲得につながっている。

平成 29 年 5 月に商店街を舞台に大分商業高校商業調査部が主催したイベント「府内GO! バイキング～まだあなたの知らない、大分の魅力～」では、高校生が 13 店舗にメニュー等企画し、各お店で使えるチケット 200 セットを完売。「商店街ににぎわいを創出しよう」という高校生との定期的な意見交換が着々と実を結んでいる。

今後は、他の学生との協働に向けて、さらなる積極的なアプローチを行い若者に身近な商店街となることで、未来のお客様として、あるいは未来の経営者として、商店街の活性化につながる関係づくりが図られる見込みである。

## 実施体制

商店街組織の若返りを目的に役員を改選したことで、活動的な組織に生まれ変わった。

役員をはじめ組合員が積極的に商店街振興のために行動しはじめ、行政や様々な団体がそれに協力するよう変化した。これにより商店街メンバーの意識が向上し、若い理事長・副理事長の発想力やリーダーシップを期待し、支持されている。

商店街では、理事会を月に 1 回開催し、実施事業等を決定、議事録を作成し、組合員に回覧している。詳細な事務は商店街事務局に 2 名の事務員を配置して進めている。

商店街の各事業は、行政の補助も活用しつつ、継続が可能な範囲で金額をかけすぎないように工夫を凝らしている。広報としては、大分商業高校のツイッターのほか、商店街独自の SNS での情報提供や、県庁内での広報の依頼等を行っている。

## キーパーソンからのコメント



大分市府内五番街商店街振興組合

写真左より  
事務局 小仲 好樹  
理事 田口 和恵  
副理事 田中 克明  
理事長 安達 了剛  
副理事 高取 詳子  
タウンマネージャー 屋野 和則  
副理事 藤井 俊之

### 誰もが活躍できる商店街をめざして

理事長に就任して 3 年。今まで親交のなかった団体からの申し入れも受け、それまでのイベントスタイルとは違う新たな切り口のイベントにより府内五番街らしさを見出してきています。その一つ「府内五番街まちなか JAZZ」は、JAZZ カフェの店主とお客様の提案からスタートした、府内五番街を象徴するイベントです。今後、様々な団体と連携を深め、まちぐるみで魅力ある商店街となるように努力して参ります。

### 次代を担う若者とともに

市内現役高校生がリアルな視線で街の情報発信をする「府内五番街アピるんジャー」との連携、「府内五番街をどうイノベーションしていくか？」をテーマに大学授業とコラボレーションするなど、地域活性化のためのまちづくりを府内五番街を活用して学んでいただいております。若い人々が、府内五番街に親しんでいただく環境ができております。次代を担う若い人と一緒に学び、まちづくりに力を注ぎたいと考えております。